

1. 目的と目標

(1) 目的

吉野川流域生態系ネットワーク形成の目的は、自然環境条件及び社会環境条件に基づき次の2点とする。

**目的1 コウノトリ・ツル類を指標とした河川と取り巻く地域が一体となった自然環境の保全と再生による生態系ネットワークの形成**

**目的2 コウノトリ・ツル類を指標とした生態系ネットワークの形成を通じた地域活性化及び経済振興の実現**

(2) 目標

目標については、生物多様性条約により設定された「愛知目標」を踏まえ、短期目標（～2020年）と長期目標（～2050年）の2つのフレームを設定する。

**長期目標 ～2050年**

<p><b>ビジョン</b></p> <p>◇コウノトリ・ツル類がくらししていることを日常の光景とし、これらが舞い降りる川や田んぼは、カエル・魚・虫などの生物多様性が豊かで、良好な景観の水辺が広がっている場所にする。</p> <p>◇川と里での生態系ネットワークの取組を、山や海へも広げ、各地域特有の自然資源や歴史・文化・伝統を最大限に守り活かした産業と、落ち着いた暮らしが営まれているようにする。</p> <p>◇地域に住み、働き、訪れる人々が、自然とのつながり・人とのつながりを実感できる、吉野川流域独自の魅力的で持続性のある地域づくりを展開する。</p>	
<p><b>■生息環境づくり〈到達イメージ〉</b></p> <p>【コウノトリ】 流域内の水辺環境拠点ごとにコウノトリが繁殖・定着し、年間を通じて身近な存在とする。国内の代表的な野生復帰成功地とし、堤内・堤外を一体とした生態系ネットワークの形成を達成する。</p> <p>【ツル類】 冬の訪れと共にナベツル・マナツルの群れが飛来し、流域内の主要な拠点で越冬する姿が見られるようにする。国内における安定した新規越冬地とし、堤内・堤外を一体とした生態系ネットワークの形成を達成する。</p>	<p><b>■地域・人づくり〈到達イメージ〉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コウノトリやツル類の存在を地域の新たな誇りとし、その生息環境の保全・再生・管理が地域の多様な主体による連携と協働で進められ、人々はその結果として様々な「生態系サービス」の恩恵を享受できるようにする。</li> <li>コウノトリやツル類が身近となる吉野川流域の生態系ネットワークの形成を、全国のみならず国際的にも注目されるようにし、ブランド農作物や訪日観光客を通じて地域経済や地域活力を担う有力資源とする。</li> </ul>

**短期目標 ～2020年**

<p><b>■生息環境づくり</b></p> <p>【コウノトリ】 鳴門市のコウノトリ繁殖ペアの生息環境を改善する取組を進める。また、新たにコウノトリ1ペア以上が流域内に定着（継続的な繁殖・越冬）するための環境整備に着手する。</p> <p>【ツル類】 人による影響が少ないねぐらと、採食場所が保全整備されたツル類を受け入れる地域がある、ツル類の安全安心な越冬環境を流域内で1か所以上確保する。</p>	<p><b>■地域・人づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コウノトリ・ツル類の生息を活かした産業振興（農業、観光等）に向け、基盤整備や人材養成等の様々な取組を始め、東京オリンピック・パラリンピックでアピールできる地域資源とする。</li> <li>コウノトリ・ツル類の生息環境の保全整備に資する活動や普及啓発イベント、環境学習等に参加する市民・団体・企業等を、年々増加させる。</li> <li>コウノトリ・ツル類の生息と吉野川流域の独自性を一体化する地域づくりの方向性を明確にし、拠点地区での試みの展開を始める。</li> </ul>
---	---

## 2. 展開方針 ※これまでの取組を踏まえた活動骨子

(1) 展開方針 (生息環境づくり) 凡例 ●: 新たな取組 ◎: 既存の取り組みの発展

採食地を整える	巣やねぐらを整える	人による悪影響を減らす
<p><b>河川【河川管理者】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●河道掘削や樹木管理等の治水対策と一体となった浅場・湿地の創出 (旧吉野川と板東谷川の合流部で、自然再生事業実施に向けた計画策定)</li> <li>●特定外来生物アレチウリの防除を兼ねた水際の切り下げによる湿地化</li> </ul>  <p><b>ため池【土地改良区、水利組合】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●冬期の水位調節による浅場の確保</li> </ul>	<p><b>河川【河川管理者】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ツル類の飛来実績がある砂州で、掘削によるねぐらとなる砂州の切り離し</li> </ul>  <p>提供: 日本野鳥の会徳島県支部三宅支部長</p>	<p><b>河川 (採食場、ねぐら)【河川管理者+α】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●人や車両の立ち入り自粛の要請看板を設置</li> <li>●車両の立入制限区域を設定</li> <li>●砂州での砂利採取休止期間を設定【企業】</li> <li>●河川パトロールの際に影響の有無を確認</li> <li>●特定猟具使用禁止区域 (銃器) への編入【猟友会、県】</li> </ul> <div data-bbox="2398 443 2754 758"> <p><b>ナベヅルを驚かせないでください!</b></p> <p>この先の河原は、毎年11月頃から3月頃にかけて、レッドデータブック(環境省編)で絶滅危惧種(II類)に指定されているナベヅルが渡来し、「ねぐら」として利用しています。ナベヅルが安心して休めるように、車両の乗り入れを止めて、静かに見守りましょう。</p>  <p>oooooooooooo</p> </div>
<p><b>農地、休耕地【農業者+α】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●水田の端に通年湛水する溝の設置 (水生生物が棲める場を確保)</li> <li>●水田の中干し延期 (おたまじゃくしがカエルになるまで待つ)</li> <li>●稲刈り時に一部刈り残し (ツル類の食物確保)</li> <li>●稲刈り後に耕してすき込む秋耕を控え、二番穂や落穂を確保 (ツル類の食物確保)</li> <li>●休耕地で通年湛水 (水生生物が棲める場を確保)</li> <li>●取組水田でイノシシ等による獣害対策の検討 (営農環境の維持)</li> <li>●ハス田でれんこんを食害する外来種アカミミガメの駆除 (営農環境の維持)【JA、県】</li> <li>●ハス田でれんこんを食害するカモ類と共生する食害防除対策の検討・試行 (営農環境の維持)【県、徳島大学ほか】</li> <li>●取組水田やハス田で外来植物ナガエツルノゲイトウの侵入抑制・防除 (営農環境の維持)【市民団体、企業、県】</li> </ul>  <p>出典: 小松島市生物多様性農業推進協議会 web サイト</p> 	<p><b>ため池【土地改良区、水利組合】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●冬期の水位調節により、ツル類のねぐらとなる浅場の確保</li> </ul> 	<p><b>コウノトリの営巣地周辺</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎地区の農業者や住民で構成する活動組織を立ち上げ、来訪者に接近や車両乗り入れ自粛への協力を呼びかけ (多面的機能支払交付金の活用を想定)</li> <li>【農業者、地区住民、鳴門市】</li> <li>●来訪者用に、近隣民地で臨時有料駐車場を確保【自治会、鳴門市】</li> </ul>  <p>出典: 愛媛新聞</p>
<p><b>遊休地【企業、市町、県、国】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●飛来地周辺の社有地や公有地で「水域ビオトープ」の創出・管理</li> </ul>  <p>出典: 大塚製薬株式会社 web サイト</p>	<p><b>農地、休耕地【農業者+α】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●コウノトリの人工巣塔の計画的配置【企業ほか】</li> </ul> 	<p><b>農地、休耕地ビオトープ (採食・休息場)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ツル類の採食場の周辺で、接近や車両乗り入れ自粛への協力呼びかけ【農業者、市町】</li> <li>●特に飛来数が多い地区で、将来的な電線地中化に向けた検討や調整【四国電力ほか】</li> </ul> 



(2) 展開方針 (地域・人づくり)

凡例 ●：新たな取組 ◎：既存の取り組みの発展

農業でうるおう

- ◎「コウノトリおもてなし」認証農産物（米など）・加工品や認証地域の拡大【農業者、鳴門市、県】



出典：豊岡市 web サイト

- ◎ツル類を守る農産物のブランド化推進【農業者、県、市町、JA】



出典：株式会社阿波農産 web サイト

- コウノトリ・ツル類を守る農産物の大収穫祭【農業者、JA】



出典：四万十つるの里づくりの会 web サイト

- 取組水田の企業オーナー制導入【農業者、企業】



出典：水田オーナーズクラブ web サイト

観光でうるおう

- 吉野川流域エコツアーの商品化【市民団体、企業】



出典：四国地区観光公式サイト 巡るめく四国

- かわまちづくり支援制度等を活用したエコツアー拠点整備の検討【市町、徳島河川国道事務所、企業】



活動資金を調達する

- ◎ガバメントクラウドファンディング（ふるさと納税）【鳴門市ほか市町】

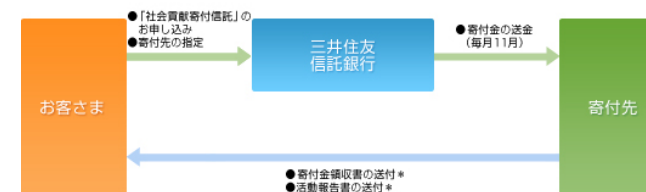


出典：ふるさとチョイス web サイト

- 多面的機能支払交付金（二番穂の確保、魚道設置、休耕地ビオトープづくり、獣害対策など）【農業者等による活動組織、市町、中国四国農政局】

- とくしま経済飛躍ファンド【とくしま産業振興機構】

- 取組応援型金融商品（定期預金、ファンドなど）の開発【銀行】



出典：住友信託銀行 web サイト

- 地域経済循環創造事業交付金（支援対象：地域資源を活かした先進的で持続可能な事業、かつ地域経済の循環効果を創出する事業）【企業、銀行、市町、県、総務省】

理解と関心を深める

普及・啓発

- プロモーション映像の制作【県、企業】
- ◎「アダプト・プログラム吉野川」を流域の生息環境づくりに拡大展開【吉野川交流推進会議】



出典：吉野川交流推進会議 web サイト

- ◎コウノトリ・ツル類が飛来した地区の学校で出前授業【学校、市民団体、市町、県】

- 四国圏域の活動参加団体や学校による成果発表シンポジウム【市民団体、学校、企業、市町、県ほか】



- 水鳥と鳥インフルエンザの関係性や対応策の周知【市町、県】

モニタリング

- 目撃情報の収集（例：とくしま・スマホ生きもの調査隊の活用など）【市民団体、住民、市町ほか】



出典：とくしま・スマホ生きもの調査隊 web サイト



# 吉野川流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク形成全体構想

## 目次（案）

### はじめに

#### 1.全体構想について

- (1) 全体構想の目的と位置づけ
- (2) 対象区域

#### 2.生態系ネットワークについて

- (1) 生態系ネットワークとそれによってもたらされる恩恵
- (2) 河川を基軸とした生態系ネットワークの全国での取組
- (3) 河川を基軸とした生態系ネットワークの四国圏域での取組

#### 3.指標種シンボルとしてのコウノトリ・ツル類

- (1) コウノトリ・ツル類の指標性・シンボル性
- (2) コウノトリ・ツル類の生態と生態系ネットワーク等の取組

#### 4.吉野川流域での取組等

- (1) コウノトリ・ツル類の飛来・生息状況
- (2) コウノトリ・ツル類の生息環境保全に向けた取組
- (3) コウノトリ・ツル類を指標とした生態系ネットワーク推進に向けた課題

#### 5.吉野川流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク形成の目的・目標

- (1) 目的
- (2) 目標 長期目標／短期目標

#### 6.展開方法

- (1) 生息環境づくりの展開方法
  - 1) 採食地の保全・創出
  - 2) 巣やねぐらの保全・創出
  - 3) 人による悪影響の緩和
- (2) 地域・人づくりの展開方法
  - 1) 農業振興
  - 2) 観光振興
  - 3) 活動資金の調達
  - 4) 理解と関心の向上

#### 7.検討・推進体制、ロードマップ

- (1) 検討・推進体制
- (2) ロードマップ

